

学校評価分析方法（評価内容と基準）

児童・保護者・教職員の％は、肯定的回答の割合

	評価観点	児童	保護者	教職員	評価と分析
		アンケート番号			
学力向上	①「できる・わかる」授業で、意欲的に学ぶ児童を育成している。	(1) ○	(1) ○ (2) △ (3) ▲	(1) ○ (2) ◎	例 ◎と○が約7割だから「○」分析は、「○」になった要因を具体的に明記する。
	②姿勢や話し方・聞き方等の指導と家庭学習の習慣化など、よりよい学習習慣を身につけさせている。	(2) (3) (5)	(3) (4)	(3) (5)	
	③児童の実態を把握し、表現力やコミュニケーション能力の向上に努めている。(学校研究)	(4)	(3)	(2) (4) (10)	
心の教育・健康体力について	①自己肯定感を高める取組を通して、よりよい人間関係づくりに努めている。	(7) (8) (9) (11)	(5)	(6) (7) (8)	
	②元気で礼儀正しいあいさつができるなど、規範意識や道徳性のある教育をしている。	(10) (13) (14) (16)	(7) (8) (9) (10)	(9) (12)	
	③読書に親しむ児童を育成している。	(6)	(6)	(11)	
	④規則正しい生活リズムを基盤とし、体力・運動能力向上と健康や安全教育に努めている。	(12) (13) (15)	(9) (10) (11)	(13)	
	⑤心身の健康を大切にするために、働き方や勤務時間の縮減に努めている。			(14)	
家庭・地域との連携	①保護者に、児童の様子や成長について細やかな伝達ができている。		(14)	(6) (16)	
	②PTA役員や各委員会と協力して事業を進め、学校と家庭との連携が図られている。	(17)	(13) (12)	(17) (15)	
	③地域の人材や自然・各施設など、地域と連携した教育活動を行っている。		(15) (12)	(18) (15)	

○評価基準

- ・学校評価委員会の評価観点に対する、児童・保護者・職員のアンケートの番号（項目）を記載しました。
- ・評価の基準を以下のようにします。

①各アンケートの評価

AとB（肯定的評価）の割合が 100～90％で◎ 89～70％で○ 69～50％△ 49％以下▲

②学校評価委員会の評価観点に対する評価

各アンケートの◎が8割以上で◎ ◎と○合わせて7割以上で○ △と▲合わせて7割以上で△ ▲が8割以上で▲

※「学力向上①」の例を参照